

大月市基本図 吉久保(大月市)

凡 例

- : 計画地
- : 植物調査範囲
- : 重要種確認位置

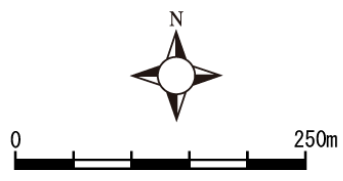


図 10-11-3 植物保全すべき種確認位置図

表 10-11-9(1) 植物の保全すべき種の確認状況

保全すべき種(植物：カワモズク)の確認状況	
種名 カワモズク <i>Batrachospermum gelatinosum</i>	
 <p>平成25年5月23日撮影</p>	<p>一般的生態</p> <p>カワモズク類は、湧水の多い水路や沼等の淡水域に生育するカワモズク科の紅藻類である。生活史のなかで有性生殖を行う時期に配偶体を形成するが、この時の形態が食用海藻「もずく」に似る。配偶体は有性生殖を終えると姿を消す。配偶体の枝先につくられる果胞子体から放出された果胞子の発芽に由来する微細な糸状の胞子体は無性生殖を行い、通年石や岩等に付着して生育している。配偶体が出現する時期は種と地域により様々であるが、一般に低水温期に見られる。日本各地に分布するが、埋め立て、護岸や水辺林の改変などにより消滅する地点が著しく、環境省の「第4次レッドリスト」においてVU(絶滅危惧Ⅱ類)に選定されている。</p>
保全すべき種の選定基準	
環境省第4次レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類	
確認状況	
春季調査時に周辺域の笹子川の調査範囲下流部右岸側の斜面際の小流路において確認された。水中の礫に付着、1m×3mの範囲に散生していた。	

表 10-11-9(2) 植物の保全すべき種の確認状況

保全すべき種(植物：ツルカノコソウ)の確認状況	
種名 ツルカノコソウ <i>Valeriana flaccidissima</i>	
	<p>一般的生態</p> <p>やや湿り気のある林床や草地に生育する多年草である。花期は4～5月。北海道～九州に分布する。「山梨県レッドデータブック」において、植生遷移による減少が心配される、としてVU(絶滅危惧Ⅱ類)に選定されている。</p>
平成25年5月23日撮影	
保全すべき種の選定基準	
山梨県レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類	
確認状況	
春季調査時に周辺域のB沢下流部、3面張りコンクリート上に土が堆積した箇所に1株生育していた。	